

採択事例①

都道府県： 宮崎県 団体名： 延岡市
 担当部局： 企画部情報政策課
 人口： 118,394人 経費総額： 53,516千円

誰一人取り残さないポータルアプリの構築 ～交流人口・関係人口も拡大～

事業概要

- ◆ ポータルアプリの実装
- ◆ 既存アプリの改修・機能追加
- ◆ 出張者や観光客の取り込みによる地域内経済の活性化

推進体制

- ①延岡市
- ②延岡市情報政策推進懇話会
- ③パイザー(株)
- ④国立循環器病研究センター、ほか

課題・目的(効果)

- 【課題】
- ◆ デジタル化に向けた各アプリ・Webサービス(防災アプリや健康アプリ等)の個別展開により、利用開始までの過程が煩雑になっている
 - ◆ 交流人口・関係人口の増加に向けた、市外・県外からの来訪者も関わる形での地域経済循環の構築ができていない
- 【目的(効果)】
- ◆ 延岡市が発信する情報や行政サービスを一元化して提供する体制を整備するとともに、住む場所に捉われない、情報格差のない行政サービスの提供を目指す

事業の特徴

- 【ポータルアプリの利用促進に向けた工夫】
- ・ アプリの機能としては、ログイン情報をAPI連携させることで、利用のハードルを除去し、通知等も各個人が必要な情報を設定し、市民の煩雑さを抑制
 - ・ 地域通貨システムにより、市民の行動変容等に対してポイントを付与し、行政の負担軽減やソーシャルキャピタルの醸成を実現

KPI

- ① 市民のポータルアプリの登録者数
- ② ポータルアプリ利用者における満足度
- ③ のべおかCOINアプリへの地域マネーチャージ総額
- ④ のべおかCOINアプリ及びのべおか健康マイレージアプリのポイント発行総数
- ⑤ 市外住民のポータルアプリ登録者数

採択事例②

都道府県： 岩手県 団体名： 宮古市
 担当部局： 企画部
 人口： 50,369人 経費総額： 81,485千円

地域ブランド×地域産業データ×地元人材を活用した 地域プロモーション

事業概要

- ◆ 地場産品やサービスへの活用を行う地場産業の体制づくりのための情報発信基盤の構築

推進体制

- ①宮古市
- ②カルティブ・日本地域色協会・コストソリューション共同企業体
- ③岩手県立大学宮古短期大学部、ほか

課題・目的(効果)

- 【課題】
- ◆ 観光収入が訪問者数に左右され、天候等により不安定
 - ◆ 地域、季節天候を問わない新たな産業活性化策と地域のプロモーションによる地域外からの外貨獲得が必要
 - ◆ 人口減少に伴い、地元企業を始め、人材の確保に苦慮している
- 【目的(効果)】
- ◆ 地域産業のポートフォリオや地域プロモーション情報発信基盤を導入し、そこで得られたデジタル資源を活用したプロモーション及び商品の高付加価値化等を目指す

事業の特徴

- 【地域プロモーションのデジタル化】
- ・ 地域ブランド等を、地場産業の体制づくりのためにデータベース化し、商品開発支援を実施
 - ・ 地域ブランド発信のため、専用のWebサイトを立ち上げ、情報発信基盤を構築
 - ・ 人材育成により、地域内デジタル化に資する人的資源を創出

KPI

- ① 地域プロモーションサイトの閲覧数
- ② 地域事業者データシステムの登録事業者数
- ③ 地域事業者データシステムへの登録商品数
- ④ ふるさと納税の寄附金額の昨対比
- ⑤ 参加者（事業者、利用者）の満足度

(注) 人口は令和2年国勢調査（2020年10月時点）の数値